写

感対第 358 号
令和５年（2023 年）７月 19 日

各医療機関 管理者 殿

茨城県保健医療部感染症対策課長
（公印省略）

**夏季休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発及び日本への帰国者・入国者における輸入感染症を意識した診療について（協力依頼）**

日頃から本県の感染症対策の推進に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

海外渡航者に対する感染症予防啓発について、令和５年７月 10 日付け厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡をもって、別添のとおり協力依頼がありましたので、下記のホームページ及び添付のリーフレットを参考に貴院の職員や来院者に対する感染症の予防方法等の周知について、ご協力をお願いいたします。

また、県内の医療機関では、令和５年４月にインドからの帰国者が麻しん（はしか）、令和５年６月に海外からの入国者がデング熱と診断されています。今後、夏季休暇を控え、人の移動が活発になることにより、輸入感染症が発生する可能性が高くなると予想されます。貴院におかれましては、問診時の海外渡航歴の聴取等、輸入感染症を意識した診療が徹底されるよう、職員に対して注意喚起をお願いいたします。

なお、職員向けの院内掲示用リーフレットを添付しますので、診察室やナースステーションに掲示する等、周知啓発にご利用ください。

記

厚生労働省ホームページ（海外渡航者向けポスター・リーフレット）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

厚生労働省検疫所 FORTH（海外の感染症の流行状況、予防方法など）
https://www.forth.go.jp/index.html

茨城県感染症情報センター（教材・ポスター等）
https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/hoikuman.html

お問い合わせ先
茨城県保健医療部感染症対策課　疫学Ｇ
電話番号 029-301-3233
E-mail　yobo5@pref.ibaraki.lg.jp




茨城県感染症対策課からのお知らせ



# 帰国者・入国者の感染症を疑って！

県内の医療機関では、４月にインドからの帰国者が麻しん（はしか）、６月に入国者がデング熱と診断されています

夏休みで人の移動が活発になると、輸入感染症の患者が来院する可能性が高まります

**海外渡航歴の確認など、輸入感染症を意識した診療をお願いします**

**日本感染症学会**

症状からアプローチする

**インバウンド感染症への対応**

**感染症クイック・リファレンス**

厚生労働省
検疫所 FORTH

厚生労働省
海外渡航する皆様へ

茨城県保健医療部
公式Twitter





茨城県保健医療部感染症対策課
☎ 029-301-3233

令和5年7月

# 【一覧】 海外で注意しなければいけない感染症(平成30年7月)

厚生労働省ホームページ FORTHより

| 主な感染源 | 注意すべき病気 | 主な発生地域 | 滞在地域 | | | | 予防方法 | | 主な症状 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | リゾート観光地 | 都市部 | 地方の町や村 | 森林・原野 | その他 | 予防接種 | 発熱 | 下痢 | その他 |
| 食べ物 水 | ★ E型肝炎 | 世界各地 | ● | ● | ● | ● | 十分火の通った食べ物を食べる 生肉は食べない | | ● | | 倦怠感、黄疸（体の皮膚や白目が黄色になる） |
| | ★ A型肝炎 | 世界各地（特に、水道設備が整っていない地域） | ● | ● | ● | | 十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする | ● | ● | | 倦怠感、黄疸（体の皮膚や白目が黄色になる） |
| | ★ 赤痢 | 世界各地（特に、水道設備が整っていない地域） | ● | ● | ● | | | | ● | ●<br>ときに血便 | 激しい腹痛 |
| | ★ 腸チフス | 世界各地（特に、水道設備が整っていない地域） | ● | ● | ● | | | | ●<br>持続する高熱 | ●<br>便秘になることも | 倦怠感、比較的徐脈<br>（高熱なのに比較的脈が遅い） |
| | ★ コレラ | 世界各地（特に、水道設備が整っていない地域） | ● | ● | ● | | | | | ●<br>大量の水様便 | 嘔吐<br>下痢による脱水 |
| 事故・ケガ | ★ 破傷風 | 世界各地 | ○ | ○ | ○ | ○ | 転倒やケガに注意する | ● | | | 飲み込みにくい、しゃべりにくい、全身けいれん |
| 蚊 | ★ マラリア | 熱帯・亜熱帯地域（アジア、アフリカ、中南米） | ○ | ○ | ●<br>夜間 | ●<br>夜間 | 夜間外出を控える<br>蚊帳の使用<br>虫除けローションの使用<br>長袖・長ズボンの着用 | 予防薬（飲み薬） | ●<br>高熱・周期的 | ○ | 悪寒、冷汗<br>頭痛、筋肉痛<br>意識障害 |
| | ★ デング熱 | 熱帯・亜熱帯地域（アジア、オセアニア、アフリカ、中南米、中東） | ●<br>昼間 | ●<br>昼間 | ○<br>昼間 | | 虫除けローションの使用<br>長袖・長ズボンの着用<br>室内での蚊取り線香の使用など | | ●<br>高熱 | ○ | 目の裏の痛み<br>筋肉・関節痛、発疹 |
| | ■ チクングニア熱 | 東南アジア、南アジア、アフリカ、中南米 | ●<br>昼間 | ●<br>昼間 | ●<br>昼間 | ● | | | ●<br>高熱 | | 頭痛、筋肉痛、倦怠感、発疹、関節痛、関節のはれ |
| | ■ ジカウイルス感染症 | アフリカ、東南アジア、南アジア、カリブ海諸国、アメリカ大陸、太平洋島嶼国 | ●<br>昼間 | ●<br>昼間 | ○<br>昼間 | | | | ●<br>軽度 | | 発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛 |
| | ■ 黄熱 | アフリカ、中南米 | | ○ | ●<br>昼間 | ●<br>昼間 | | ●<br>発生地域では必須 | ●<br>高熱 | | 頭痛、筋肉痛<br>悪寒、嘔吐 |
| | ■ ウエストナイル熱 | 北アメリカ<br>ヨーロッパ南部<br>アフリカ、中東、アジア | ● | ● | ● | ● | | | ● | | 頭痛、筋肉痛、倦怠感 |
| | ■ 日本脳炎 | アジア | | ● | ● | | | ● | ●<br>高熱 | | 昏睡（痛みや刺激に反応しない）、意識障害、頭痛 |
| ノミ | ■ペスト | アフリカ、アジア、アメリカ大陸 | | ● | ● | ● | 患者や動物（ネズミ、犬、猫）の体液や排泄物への接触を避ける。肌の露出を避け、虫除けを使う。 | | ● | | 腺ペスト：リンパ節炎、敗血症<br>肺ペスト：高熱、呼吸器症状 |
| 動物 | ■ 狂犬病 | 世界各地<br>（特にアジア、アフリカ） | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | むやみに動物に触らない<br>予め狂犬病ワクチン接種を受ける<br>犬等からの咬傷後、ワクチン等による治療 | ● | ● | | 治癒した受傷部の痛み<br>知覚過敏<br>恐水・恐風症状 |
| | ■ 鳥インフルエンザ | アジア、アフリカ | | ○ | ● | | 農家、市場、動物園などの鳥類との接触を避ける。手洗い、うがい | | ● | ○ | 呼吸器症状 |
| | ■MERS | 中東 | ◆ | ○ | ○ | | ヒトコブラクダとの接触を避ける | | ● | ○ | 呼吸器症状 |
| 人 | ★麻しん | 世界各地<br>（特にアジア・アフリカ・欧州） | ● | ● | ● | | | ●（MRワクチン） | ●<br>高熱 | ○<br>乳幼児では多い | 咳、鼻水、結膜充血、発疹 |
| | ★風しん | 世界各地<br>（特にアジア・アフリカ） | ● | ● | ● | | | ●（MRワクチン） | ● | | 発疹、リンパ節腫脹 |
| | ■ポリオ | 中東・アフリカなど | | ○ | ○ | | 手洗いの実施 | ● | ● | ○ | 麻痺 |
| 沼や湖河川 | ■ レプトスピラ症 | 世界各地 | | | ● | | 淡水（川や湖）での水浴びを控える | | ● | | 悪寒、頭痛、筋痛<br>腹痛、結膜充血 |
| | ■住血吸虫症 | アジア、アフリカ、中南米など | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 下痢(血性)、血尿、肝臓、脾臓の腫れ |

★：最も注意をしなければいけない病気
■：渡航先、活動内容によって注意しなければいけない病気

●：感染する機会が多いので十分に注意
○：感染する機会は少ないが注意が必要
◆：動物と接触する機会の多い場合には十分に注意

●：ワクチンにより予防できる
※予防接種は、渡航期間、地域、活動内容により、医師と相談の上、考慮する。

●：よくみられる症状
○：ときにみられる症状

# 海外における感染症予防



## 【注意が必要な主な感染症】

| 感染症名 | デング熱 | ジカウイルス感染症 | 麻しん（はしか） |
|---|---|---|---|
| 主な発生地域 | アジア、中南米、アフリカ等 | アフリカ、東南アジア、南アジア等 | 世界中の様々な地域（特にアジア、アフリカ、欧州） |
| 感染経路 | ウイルスを保有している蚊に刺されることで感染 | | 空気感染、飛沫感染等 |
| 主な症状 | 感染から2～14日後に、発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹などが現れる。 | 感染から2～12日後に、軽度の発熱、発疹、関節痛などが現れる。<br>※妊娠中に感染すると、赤ちゃんが小頭症等にかかる可能性がある。 | 感染から10～12日後に、発熱、咳、鼻水などが現れる。一度解熱した後、39℃以上の高熱と発疹が出現する。 |
| 予防方法 | 蚊に刺されないこと（ワクチンはありません）<br>・虫よけスプレーの使用（定期的に塗る）<br>・長袖・長ズボンの着用など  | | ワクチン接種  |

## 【感染対策】

### ■出国の前に

**渡航先の感染症発生状況を把握し、ワクチン接種歴の確認および適切なワクチン接種を行いましょう。**

渡航前にワクチン接種歴を確認し、予防対策が不十分なものがあれば予防接種を検討しましょう。
また、入国時に予防接種証明書の提示が求められる国がありますので、予め確認しましょう。



予防接種の医療機関検索はこちら

予防接種実施機関
（厚生労働省検疫所（FORTH））
https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html

いばらき医療機関情報ネット
http://www.ibaraki-medinfo.jp/Search/Others/

### ■海外滞在中

感染対策の基本は**「手洗い」**です。



| 主な感染経路 | 予防のポイント |
|---|---|
| 水や食べ物 | 生水や生ものの喫食を避け、肉や野菜等は十分に加熱しましょう。 |
| 蚊・昆虫 | 蚊などの虫に刺されないよう定期的に虫よけスプレーを使用しましょう。また、長袖・長ズボンを着用し、なるべく肌を露出しないようにしましょう。 |
| 動物 | できるだけ動物との接触を避け、接触した場合は速やかに手を洗いましょう。 |
| 河川や湖沼 | 淡水や川での水遊びを控え、裸足で歩かないようにしましょう。 |

### ■帰国後

**発熱や発疹等の症状が現れた時は、事前に医療機関に連絡し、速やかに受診しましょう。**

医療機関を受診する際は、医師に以下のことを伝えましょう。

**●海外渡航歴　●喫食歴　●動物との接触歴　●蚊の刺咬歴**　等

※心配な方は、最寄りの保健所にご相談ください。





詳しくはこちらのページをご覧ください

厚生労働省検疫所（FORTH）
https://www.forth.go.jp/index.html

FORTH お役立ち情報
ここに注意！海外渡航にあたって
https://www.forth.go.jp/useful/attention/index.html

茨城県内の保健所一覧
http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/koso/iji/koso/healthcenter/index.html

茨城県保健医療部公式Twitter
感染症・生活習慣病の予防
健康づくりなどを発信してます

茨城県感染症情報センター　☎ 029-241-6652
茨城県保健医療部感染症対策課　☎ 029-301-3219